

1 計画の趣旨等

(1) 計画策定の趣旨

社会経済情勢や県民の文化活動の状況等の変化を踏まえ、県が重点的に実施すべき文化振興施策を示すため、新しい文化振興計画を策定する。

(2) 計画の位置付け

富山県民文化条例第8条第1項に基づく文化振興に関する基本計画

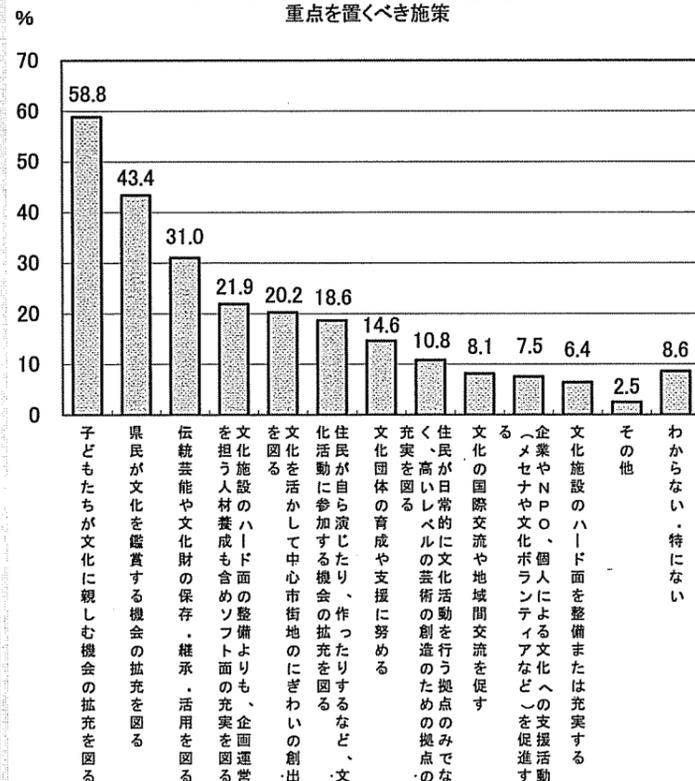
(3) 計画の期間

平成18年度から平成27年度までの10年間

文化に関する県民アンケート調査（H17）

	H9	H17
この1年間に、文化に関する催しに出かけたことがあると答えた人の割合	77.1%	89.9%
この1年間に、自分で演じたり、作ったりしたことがあると答えた人の割合	30.9%	39.3%

文化振興を通じて「元気とやま」を創造するために重点を置くべき施策



2 文化活動の現状と課題

県民の文化活動

- ・県民の文化の鑑賞や創作活動等は、活発である。
- ・子どもたちが文化に親しむ機会の拡充を図ることが重点施策として求められている。
- ・芸術各分野の活動は活発だが、高齢化により愛好者の減少が懸念される。
- ・県芸文協は全国的にトップレベルの活動を展開

文化施設

- ・文化施設のハード面の整備は全国トップレベル
- ・今後は、ソフト面を充実し、地域の文化活動の拠点機能の向上が課題
- ・美術館等では、来館者の増加策などが課題

子どもたちの文化活動

- ・総合的な学習の時間等も活用し、学校での文化体験の取り組み充実が課題

高齢者、障害者の文化への参加

- ・文化施設に足を運びにくい人々への芸術鑑賞、体験機会の拡充、ボランティアの拡充が必要

文化を活かした地域づくり

- ・立山信仰や高岡の万葉等、地域には、特色ある伝統、歴史、文化を活かした活動が多いが、十分知られていない。

世界への文化の発信

- ・利賀は、発信拠点として一層の充実が必要
- ・県芸文協は、海外文化団体と活発に交流

伝統文化の掘り起こし、活用と発信

- ・おわら風の盆などの伝統芸能、世界遺産五箇山合掌集落等の文化資源を活かした発信が課題

情報通信技術を活用した新しい文化の創造と発信

- ・情報通信基盤の整備は全国有数
- ・提供する映像情報等の充実が課題

文化振興と観光振興の連携

- ・魅力ある地域文化の観光資源としての活用が課題

3 基本目標と施策の方向性

富山から世界に、人と文化の輝く「元気とやま」の創造

基本目標

- ・県民が幅広く文化の鑑賞や新しい文化の創造を楽しみ、文化を通じた交流や文化活動に参加することを拡大していく。特に、次代を担う子どもたちが、文化に親しむことを促進する。
- ・質の高い文化を創造し、世界に発信する。これにより、富山県の文化のレベルアップを図るとともに、県民の誇りとなる文化面での「とやまブランド」を確立する。

文化の担い手と県の役割

文化の担い手は県民。
県の役割は、県民が文化を鑑賞、創造、交流するための機会を確保し、文化活動に参加する団体やボランティアなど様々な主体により、文化活動が活発に行われるとともに、質の高い文化の創造・発信が行われるよう条件整備や環境づくりに努めること。文化行政の推進体制のあり方について検討が必要

施策の方向性

文化活動への
幅広い県民の参加

- 身近なところで優れた文化を鑑賞する機会の充実
- 新しい文化の創造への支援
- 文化を通じた交流・文化活動への参加の拡大
- 子どもたちの文化活動の充実

質の高い文化の創造
と
世界への発信

- 優れた文化の創造と人材育成の拠点づくりを進め、世界への発信を促進
- 特色ある国際交流事業の展開と発信
- 伝統文化の発掘と県民による再認識と発信
- 情報通信技術を活用した新しい文化の創造と発信
- 文化振興と観光振興の連携

1 県民の文化活動

(1) 県民アンケート等

- ・県民の文化に関する催しへの外出、自宅での鑑賞や、文化に関する創作活動等は、いずれも前回より増加し、活発である。
- ・子どもたちが文化に親しむ機会の拡充を図ることが重点施策として求められている。

(2) 芸術各分野

- ・美術………立体造形等の作家のレベルは極めて高い。美術展等も多い。
- ・音楽………吹奏楽が盛んだが、指導者が代わると活動レベルが低下することもある。
- ・演劇・芸能……利賀では国際的に評価の高い世界演劇祭を毎年開催
世界こども演劇祭等が県民の力で毎回多彩に開催
- ・洋舞………国内外の大会で受賞するなど優れた実績を持つ団体が活発に活動
- ・文芸………愛好人口が多く、図書館も整備されている。
- ・生活文化……参加人数が多く、他の芸術分野のよき鑑賞者ともなる。
- ・伝統芸能……活動は隆盛だが、高齢化が進展。おわらなど全国から多くの愛好者が訪れる。

獅子舞や曳山など優れた郷土芸能があるが、県内外で十分知られていない。

(3) 県民による文化活動

- ・県民芸術文化祭
文化団体による分野を超えた交流と協働による舞台や展示
運営面への文化団体や地域のさらなる参画、舞台や作品の新たな創造が課題
- ・県美術展
作品のレベルは全国有数、プロの美術家を輩出
高齢者の出品が増え、若い層の出品が減少
- ・(社)富山県芸術文化協会
数多くの文化事業、国際交流事業を推進し、全国的に見てもトップレベルの活動

2 文化施設

- ・文化施設のハード面の整備は全国トップレベル。今後は、ソフト面の充実が必要。
- ・文化ホール………県立館の利用率は60%強と全国水準より高い。
特色ある運営が行われている文化ホールがある。
文化活動の拠点機能の向上が求められる。
- ・美術館・博物館………県立館3館は、現代美術、水墨画などの日本美術、立山信仰などで、特色ある施設だが、観覧者数は減少傾向であり、来館者の増加策などが課題

3 子どもたちの文化活動

- ・小中学校の総合的な学習の時間で、芸術文化活動に取り組まれている。
- ・学校の課外活動などで、吹奏楽、合唱、郷土芸能、器楽、声楽等が全国大会で活躍
- ・専門的な指導者による指導の拡充が課題である。
- ・県立美術館等の入場料の通年無料化を活用した新たな事業の展開が課題である。

4 高齢者、障害者の文化への参加

- ・文化施設に足を運びにくい人たちへの芸術鑑賞、体験機会の拡充が必要
- ・県立文化ホール使用料の減免、県立美術館等における障害者の通年無料化を実施
- ・文化施設での鑑賞、発表をサポートするボランティアの拡充が望まれる。

5 文化を活かした地域づくり

- ・地域における活動は全県的にネットワーク化されておらず、地域間の交流や全県的な広がりが不十分である。
- ・高岡の万葉や街並み等、地域には、特色ある伝統文化、歴史、文化を活かした活動が多いが、県民に十分知られていない。

6 世界への文化の発信

- ・利賀芸術公園は、世界への芸術文化の創造発信拠点として、一層の充実が求められている。
- ・(社)富山県芸術文化協会は海外文化団体と活発に交流し、世界こども演劇祭などを開催

7 伝統文化の掘り起こし、活用と発信

- ・おわら風の盆、麦やなどの伝統芸能、世界遺産五箇山合掌集落や国宝瑞龍寺をはじめ貴重な歴史文化資源があるが、県民にも十分知られていない。
- ・文化の宝ものの発掘と地域づくりの活用が求められており、とやま文化財百選の選定等を進めている。今後一層、評価され、国内外に発信することが課題

8 情報通信技術を活用した新しい文化の創造と発信

- ・ケーブルテレビや高速インターネットが県内一円で利用可能という全国有数の情報通信基盤が整備されている。
- ・映像情報を広く提供している実績もあるが、今後インターネットを活用した映像の提供を進めるため、映像の蓄積と必要な権利の確保により情報の充実が課題
- ・伝統を基盤に新しい技術を加えて高度なものを作り出す最先端のものづくり文化があ

9 文化振興と観光振興の連携

- ・地域文化の本当の魅力を活用した観光や、観光を活用した地域文化の発信が課題